

令和4年

第3回教育委員会定例会会議録

令和4年2月17日

水戸市教育委員会

令和4年第3回教育委員会定例会

- 1 開催日時 令和4年2月17日(木) 午後4時55分 開会
午後6時05分 閉会
- 2 開催場所 水戸市役所 4階 中会議室4
- 3 出席者 教育長 志田晴美
委員 東小川昌夫(教育長職務代理者)
委員 富田教代
委員 篠崎和則
委員 丸山陽子
- 4 欠席者 なし
- 5 説明のため出席した職員の職、氏名
教育部長 増子孝伸
総合教育研究所長 春原孝政
参事(県費負担教職員担当) 橋義孝
参事(学校施設整備担当) 菊池浩康
参事兼教育企画課長 三宅修
学校管理課長 細谷康之
学校保健給食課長 小川佐栄子
幼児教育課長 松本崇
学校施設課長 和田英嗣
生涯学習課長 湯澤康一
歴史文化財課長 小川邦明
放課後児童課長 大和敦子
中央図書館長 林栄一
教育研究課長 野澤昌永
- 6 傍聴人 なし
- 7 本日の日程
 - (1) 報告
 - ① 水戸市第6次総合計画ーみと魁プランー 2か年実施計画(2022年度～2023年度)について【公開】
 - (2) 議事
議案第3号 令和4年第1回市議会定例会議案に対する意見について【非公開】
 - (3) 協議
 - ① 令和4年度水戸市教育行政方針(素案)について【非公開】

8 会議の概要

午後4時55分 開会

○志田教育長 ただいまから、令和4年第3回教育委員会定例会を開会いたします。

初めに、非公開とする案件についてお諮りいたします。

本日の案件のうち、議案第3号及び協議(1)につきましては、非公開の取り扱いといたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長 御異議なしと認め、そのように進めさせていただきます。

それでは、これより報告を行います。

報告(1) 水戸市第6次総合計画ーみと魁プランー 2か年実施計画(2022年度～2023年度)について、説明願います。

三宅参事兼教育企画課長。

○三宅参事兼教育企画課長 それでは、資料の1ページをお開き願います。

報告(1) 水戸市第6次総合計画ーみと魁プランー 2か年実施計画(2022年度～2023年度)について、御説明いたします。

水戸市第6次総合計画は、平成26年3月に策定し、将来都市像として「笑顔あふれる安心快適空間 未来に躍動する 魁のまち・水戸」を掲げており、その実現に向け、毎年度ローリングにより向こう3年間の計画を定めてまいりました。

今回の実施計画の期間は、第6次総合計画の最終年次が令和5年度であることから、令和4年度から5年度までの2か年実施計画とし、計画行政の連続性を保つため、令和6年度の見通しについても示しております。

2ページをお開きください。

第6次総合計画の後期重点プロジェクトである、魁のまちづくりNEXTプロジェクトについて、変更点を御説明いたします。

3ページ、戦略的な取組のうち、「2 子どもたちの学力向上を図るとともに、生きる力を育みます。」の項目について、4ページ、今後の主な取組等の「2 快適な学習環境の充実」の最後の2つの項目が新たに追加されております。

「学校施設の緊急安全対策の推進」については、より安全で快適な環境となるよう、老朽化した学校施設の修繕を集中的に実施するものでございます。

次の「学校施設のバリアフリー化の推進」については、誰もが支障なく学校生活を送ることができるよう計画的に整備を行うものでございます。

魁のまちづくりNEXTプロジェクトの変更点は、以上でございます。

6ページからは、主要施策の年度別計画となっております。魁のまちづくりNEXTプロジェクトで説明した施策以外で新規の施策を説明いたします。

四角囲みで新と記した施策となっております。

まず、6ページ、「安心して子どもを生き育てられる総合的な環境づくりの推進」については、令和4年度の行政組織の見直しにおいて、子育てに関する様々な課題に総合的に対応するため、子育て支援に係る業務を一元化した新しい部として、市長部局にこども部を創設することから追加するものです。

次に、7ページ、「市立保育所等における民間活力活用の検討」については、より質の高い教育・保育環境の確保に向け、方針を策定するものです。

次に、「市立保育所等の緊急安全対策の推進」については、学校施設と同様に、市立幼稚園・保育所・認定こども園の老朽化した施設の修繕を集中的に実施するものでございます。

最後に、「保育所等の園外活動における安全対策の推進」については、保育所や幼稚園での散歩など、園外活動における安全対策として、国や県、警察等と連携しながら、キッズゾーンを設け、交通安全施設の整備等を推進していくものでございます。

新規の主要施策は、以上でございます。

その他、詳細につきましては、15ページ以降にそれぞれの施策の概要を記載してございますので、後ほどお目通し願います。

説明は、以上でございます。

○志田教育長 それでは、委員より御質問等がございましたら、発言願います。

丸山委員。

○丸山委員 キッズゾーンの整備と書いてありますが、これは、よく道路に書いてあるキッズゾーンの表示やガードレールのことでしょうか。具体的にどういったことを想定されているのか、教えていただければと思います。

○志田教育長 三宅参事兼教育企画課長。

○三宅参事兼教育企画課長 主に対策として実施するのは、今、丸山委員がおっしゃったように、キッズゾーンという路面表示を考えております。

○志田教育長 富田委員。

○富田委員 7ページのところで、「市立保育所等における民間活力活用の検討」についてですが、これは、専門の業者の方を入れるということでしょうか。

○志田教育長 三宅参事兼教育企画課長。

○三宅参事兼教育企画課長 民間活力活用の検討については、具体的にどのような手法で進めるのか、民間活力を活用することがいいのかどうかも含めた検討ということになります。

○志田教育長 東小川委員。

○東小川委員 2ページの県の学力診断テストについて、2023年度までの計画でいくと、点数が常に右肩上がりでなくてはならないという前提で設定していると思うのですが、現状は、ほど遠いですよね。こういう現状を踏まえた上で、このプロジェクトには見直しの余地が残っているのでしょうか。

○志田教育長 三宅参事兼教育企画課長。

○三宅参事兼教育企画課長 こちらにつきましては、第6次総合計画を定めてから、中間見直しの際に再度設定したところで、最終年度を令和5年度としておりますので、今後の見直しはございません。

ただし、中学3年生の学力診断テストについては、昨年度と今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施されておりませんので、最終的にどのように成果を測るかというところは、検討課題として残っております。

○志田教育長 東小川委員。

○東小川委員 この課題については、令和5年度になって、そこで成果をどう測るかではなく、今から議論する必要があると思うのです。義務教育では、個別最適な令和の学びを追求しましょう、

生涯にわたって学ぶ意欲と学び続ける人を育てる素地をつくっていきましょうと提唱していますよね。となると、平均点でものを語るのではなく、一人一人の子どもの伸び率を比較して学力を捉えていかないと、個別最適な学びを提唱しながら、保護者に返す数字では、学力は点数だとだめ押しをしてしまうと思うのですよね。多様な学びや、そういうものを市が指導しても、保護者が結果を受け取る時には、やはり結果は点数じゃないのと、点数が上がらないと駄目なんだと感じさせてしまうのではないかと思います。ですから、令和5年度に検討しては遅いので、第6次総合計画に掲げているプラス2点と3点というのは、いたし方ない目標だとしても、水戸市の学力の評価の観点について、長い時間かけて見直していく必要があると思います。

小学4年生から5年生、6年生と3年経ってその子がどんな成長を見せたかが子に対する伸びの把握だと思うのです。6年生の何千人の平均点を輪切りにして県の平均点より高い・低いとやっていたのでは、20年前の捉え方と何ら変わっていない。平成19年度に全国学力診断テストをやったときに、47都県を零点何ポイントで縦に並べていましたが、あれと同じ発想です。

水戸スタイルの学びといったときに、その学びを評価する観点も水戸らしさを持って、県と比較するだけではなくて、個人の評価をしっかりとやって、保護者、学校、子どもに示していくという方法がとれないかどうか。今度の教育行政方針に基づいた点検評価でいくと、評価がCになるところなので、何とか個人で捉えて評価するようなシステムづくりを教育研究課で構築してみてもどうかという提案なのですが、いかがでしょうか。

○志田教育長 春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 教育長からも常々一人一人の学力を見るように、一人一人がどう力をつけていったかということが大切だということで、指示をいただいております。ただいまの御意見も参考にさせていただいて、今後どのような形で子どもたちの学力を評価していくのか検討していきたいと思っております。

○志田教育長 東小川委員。

○東小川委員 あわせて、令和5年度までの見通しとして、これとは別に、水戸市の義務教育課程の子どもの学力の見方を考えてほしいのです。令和6年度になってからどう判断するかではなくて、4年度から学力に対する捉え方の観点を変えてみてはいかがでしょうか。

○志田教育長 春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 そこは考えていかなければならないので、今後、対応について御提案できればと思います。

○志田教育長 東小川委員がおっしゃったように、学力の捉え方というのは様々あると思うのです。

また、学力だけではなく、生活態度なども含めて、様々な観点での指標を作るべきだと思います。本当に委員のおっしゃるとおりだと思います。一方で、現実問題として、高校入試等を考えると、点数も全く置き去りにするわけにはいかないとも思います。

なるべく市内の学力が高い県立高校に行かせたいという保護者もかなり多いと思うので、そちらについても教育委員会としては対応していかなければなりません。東小川委員がおっしゃった学力の観点についても、非常に大切なので、今後検討してまいります。

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長

ないようでございますので、この件について終わります。

次に、議事に移ります。

【議案第3号 令和4年第1回市議会定例会議案に対する意見について：非公開】

【協議(1) 令和4年度水戸市教育行政方針（素案）について：非公開】

○志田教育長 以上をもちまして、本日の案件につきましては、全て終了いたしました。

その他、何かございますか。

三宅参事兼教育企画課長。

○三宅参事兼教育企画課長 それでは、お手元に配布してございます、次回以降の教育委員会会議等日程（案）について、御説明をいたします。

ゴシック体の部分が今回追加いたしました日程でございます。

最後の項目、第6回定例会は、5月19日（木）午後5時から、本日と同じ中会議室4で開催予定でございます。

なお、第1回臨時会と第2回臨時会の日時につきましては、後日御連絡をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

説明は、以上です。

○志田教育長 その他、何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長

ないようでございますので、それでは以上をもちまして、本日の定例会を閉会いたします。

御苦勞様でした。

午後6時05分 閉会

9 議決事項

議案第3号について原案可決